

北陸新幹線敦賀開業に関する要望書

平成29年11月

敦 賀 市
北陸新幹線敦賀開業促進期成同盟会

時下ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃は、敦賀市政の推進につきまして、格別の御指導と御高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、北陸新幹線については、国土軸の複軸化により国土の脆弱性を克服し、『国土強靱化を強力に進める国家施策』であります。また、地方の経済成長を促すことにより、『地方創生を着実に推進する公共投資』であるとともに、観光立国に向けて国内の快適な移動を実現する地方創生回廊の完備に寄与する21世紀型のインフラ整備であります。

北陸新幹線の敦賀開業は、地域経済の再生及び地方創生の観点から、大きく明るい道が開かれたわけではありますが、本市としては、新幹線開業を新需要の創出による地方の成長力に着実につなげていくことが、本市の将来の発展を見据える上で、非常に重要であると考えております。

つきましては、次の項目について、特段の御配慮を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成29年11月17日

独立行政法人
鉄道建設・運輸施設整備支援機構
理事長 北村隆志 殿

敦賀市長 瀧上隆信

1 着実な整備促進と駅周辺整備等関連事業について

平成34年度の敦賀開業に向け、必要予算の確保を含め着実に整備を進めること。また、新幹線開業効果を最大限活かすため、駅周辺都市施設の整備も同時に完成できるように、可能な限り調整を図ること。

2 北陸新幹線の日も早い全線開業について

北陸新幹線の敦賀大阪間については、詳細なルート検討や環境影響評価を速やかに進めるとともに、早期着工や工期短縮に向け、建設財源の確保等の具体的な検討を行い、一日も早い大阪までの全線開業を実現すること。

3 敦賀駅における利便性、快適性及び安全性の確保について

北陸新幹線敦賀駅については、新幹線と在来特急とは上下乗換方式、新幹線駅舎と既存ホームとは動く歩道を含む乗換連絡通路で結ぶという整備方針が具体化しており、整備方針については、利便性の確保に配慮されていることに、心から感謝しております。

また、北陸新幹線敦賀駅は相当数の乗換旅客流動を有し、北陸新幹線や関西・中京からの在来特急の終着駅にもなることから、広域的な玄関口として拠点機能の強化を図ることが非常に重要と考えております。併せて、今以上に駅利用者が、安全かつ快適に敦賀駅を利用できる取組も大切と考えておりますので、新幹線敦賀駅に係る以下の点を要望いたします。

- (1) 動く歩道を含む乗換連絡通路の円滑な管理運営
- (2) 新幹線駅舎コンコース内の拠点機能強化
 - ・若狭地域等の広域的な観光案内ブース等の設置協力
 - ・駅利用者の安全安心につながる鉄道警察隊詰所の設置
- (3) わかりやすい名称を用いた東西出入り口への案内サイン
- (4) 乗換旅客流動に対応したホームドア位置の検討